

授業科目の区分等：専門教育科目 会計学科 展開科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	2	選択
担当教員			
鈴木 修			
A (会計学科)	S (専門科目)	AC (会計)	203 (中級科目)

授業のねらい (概要)	この授業では、法人税法における基礎的な概念や課税所得計算の基本的な仕組みについて、現行制度の趣旨や企業会計との関係を踏まえて理解し、法人税法に基づく調整を行い、課税所得や税額を計算する能力の修得を目指します。		
授業計画	第1回/遠隔	租税法体系における法人税の意義、法人課税の本質、租税法律主義、申告納税制度、法源等 予習 (時間) : シラバスを読み、本講義の内容と目的等を確認する。(60分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、法人税の意義、法人課税の本質等について説明できるようにする。(90分)	
	第2回/遠隔	納税義務者と課税所得の範囲、事業年度、確定申告、納税地等 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(90分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、納税義務の成立と履行について説明できるようにする。(90分)	
	第3回/遠隔	課税所得計算の基本構造① (基本的な仕組み、益金の額と損金の額の意義等) 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、課税所得計算の基本構造について説明できるようにする。(120分)	
	第4回/遠隔	課税所得計算の基本構造② (企業利益との関係、公正処理基準、確定決算主義、税務調整等) 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、課税所得と企業利益との関係、公正処理基準の意義等について説明できるようにする。(120分)	
	第5回	益金の額の計算① (資産の販売・役務の提供等による収益の額等) 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、資産の販売・役務の提供等に係る税務処理について説明できるようにする。(120分)	
	第6回	益金の額の計算② (受取配当等の益金不算入、資産の評価益、受贈益等) 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、益金の額の別段の定め (概要) について説明できるようにする。(120分)	
	第7回/課題	損金の額の計算① (棚卸資産の評価、減価償却資産・繰延資産の償却費等) 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、棚卸資産の評価、償却費の計算等について説明できるようにする。(120分)	
	第8回	損金の額の計算② (役員給与、寄附金、交際費等) 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、役員給与、寄附金、交際費等の税務処理について説明できるようにする。(120分)	
	第9回	損金の額の計算③ (評価損、欠損金、引当金等) 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、評価損、欠損金、引当金等の税務処理について説明できるようにする。(120分)	
	第10回/課題	税額の計算、税額控除、申告・納付 予習 (時間) : 講義資料等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 講義資料・ノート等を整理し、税額の計算、申告手続き等について説明できるようにする。(120分)	
	第11回	資本等取引 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、資本等取引の意義、内容等について説明できるようにする。(120分)	
	第12回	グループ法人税制・連結納税制度 (グループ通算制度) ・組織再編成税制 (1) 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、グループ法人税制や組織再編成税制等の概要について説明できるようにする。(120分)	
	第13回	グループ法人税制・連結納税制度 (グループ通算制度) ・組織再編成税制 (2) 予習 (時間) : 教科書等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 教科書・ノート等を整理し、グループ法人税制や組織再編成税制等の概要について説明できるようにする。(120分)	
	第14回/課題	国際課税制度 (外国税額控除、外国子会社合算税制、過少資本税制、過大支払子税制、移転価格税制等) 予習 (時間) : 講義資料等の該当箇所を読んで、講義内容等について確認する。(120分) 復習 (時間) : 講義資料・ノート等を整理し、国際課税制度の概要について説明できるようにする。(120分)	
	第15回	総括 予習 (時間) : 1回から14回までの講義内容を振り返り、質問事項等を整理する。(210分) 復習 (時間) : 教科書・講義資料・ノート等を整理し、法人税の課税所得計算の基本原則等に	

	ついて説明できるようにする。(210分)
授業を通して身に付けることができる能力(DP)	D P (商学部)の「専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力」と、D P (会計学科)の「会計学の専門的知識を持ち、職業会計人として社会的責任を全うできる能力」を意識した科目となっています。 【身に付くスキル】 情報活用能力・グローバルな視野
到達目標	法人税法における基本的な用語、基礎的な概念、課税所得計算の基本的な仕組みについて説明することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	出題の趣旨、留意事項等について、授業内で解説します。
履修上の注意	配付資料が多数となるため、資料整理に心がけるとともに、税制調査会や財務省・国税庁等のHPに積極的にアクセスし、関連情報に触れることを期待します。
成績評価の方法・基準	授業内を行う小テスト(10%)、指示した提出物(20%)、定期試験の結果(70%)を基に評価します。
教科書	書名：スタンダード法人税法(第2版) 著者名：渡辺徹也 出版社：弘文堂 価格：3,000円+税
参考書・教材	【参考書】 必要に応じて紹介します。 【教材】 必要に応じて参考資料を配付します。
備考	講義科目/実務家教員による授業 2020年度は、第7回、第10回及び第14回を課題研究として学修します。 (第7回)「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信及び作業指示をMelly等で行い、課題等の提出を求めます。これらの指示確認等を第6回及び第8回の対面授業で行います(全体で330分の学修を想定)。 (第10回)第7回と同様の実施として、指示確認等を第9回及び第11回の対面授業で行います(全体で330分の学修を想定)。 (第14回)第7回と同様の実施として、指示確認等を第13回及び第15回の対面授業で行います(全体で330分の学修を想定)。 「成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえて「最終レポート」等で代替する場合があります。「定期試験」を実施できないと判断した場合には、Melly及び授業において、代替手段の詳細、評価基準等を告知します。 ※上記の記載は前期の履修者について適用され、後期の履修者については15回の対面授業を実施する予定です。
教員との連絡方法	Melly